

## ★音声研究会 (SP)

専門委員長 山下洋一 副委員長 李 晃伸

幹事 南條浩輝・坂野秀樹 幹事補佐 郡山知樹・小橋川 哲

## ★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 和田親宗 副委員長 若月大輔

幹事 梶谷 勇・酒向慎司・雨宮智浩 幹事補佐 宮城愛美・塩野日剛亮・半田隆志

◎SP 研究会は参加費が必要になります。

ISS の技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

[https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e\\_gihou.html](https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e_gihou.html)

日時 10月27日(土) 13:00~18:05

28日(日) 9:00~12:35

会場 九州工業大学百周年中村記念館多目的ホール(戸畑キャンパス)(北九州市戸畑区仙水町1-1. JR 鹿児島本線; 九州工大前駅下車, 徒歩10分. <http://www.kyutech.ac.jp/facilities/100th-memorialhall.html> TEL [093] 695-6048 和田親宗)

議題 音声と福祉情報工学, 一般

27日

1. DNN 音声合成のための敵対的学習による複数話者モデリングの検討 ○金川裕紀・井島勇祐 (NTT)
2. 正規化構音空間からのホルマント復元における話者性特徴抽出に関する検討  
○戸次幸徳・坂田 聡・上田裕市 (熊本大)
3. 筋電位信号を利用した食道発声法訓練用デバイスの提案—訓練用デバイスで用いる筋電位信号の測定箇所の同一—  
○大恵克俊 (第一工大)・中村凌也 (九工大)・細川和孝 (第一工大)
4. [招待講演] 擬似感性, ロボットの持つ感性—介護者支援ロボットへの応用— 富山 健 (千葉工大)
5. [招待講演] 発話障害者の音声コミュニケーション支援 滝口哲也 (神戸大)
6. 可聴スペクトルピークの適応的圧縮に基づく補聴処理の検討  
○上田雄大・木下天介・坂田 聡・渡邊 亮・上田裕市 (熊本大)
7. ガンマチャープ聴覚フィルタバンクに基づく模擬難聴システムの実装と教育応用  
○松井淑恵 (豊橋技科大)・坂野秀樹 (名城大)・西村竜一・入野俊夫 (和歌山大)
8. 視覚障害者のための歩行支援装置の提案  
○和田康宏・杉村行信 (マリス creative design)・徳田あかり・和田親宗 (九工大)
9. 機械翻訳後に手修正可能な手話 CG 制作システム  
○梅田修一・加藤直人・東 真希子・内田 翼・金子浩之 (NHK)

28日

1. 体導音センサの加速度応答特性 ○城屋敷健志・和田親宗 (九工大)
2. 生放送番組向けの自動解説音声の挿入タイミング決定法について—スポーツ中継における実況音声の発話の切れ目予測—  
○一木麻乃・熊野 正・今井 篤 (NHK)・都木 徹 (NHK エンジニアリングシステム)
3. 読唇技術を用いた新規代用音声のための高齢発話障害者に対する実験報告  
○齋藤剛史・窪川美智子 (九工大)・平井美紗都・野山和廉 (岡山済生会総合病院)
4. 電動車いす操作のためのタブレット端末型視線入力インタフェースの開発  
○比嘉 聖・山田孝治 (琉球大)・神里志穂子 (沖縄高専)
5. 口文字盤によるコミュニケーション時の読みとり文字の保存方法に関する検討  
伊藤和幸 (国立障害者リハビリテーションセンター)
6. 眼位異常判定プロセスの判定基準について ○平田木乃美 (宮崎大)・内田憲之 (九州保健福祉大)・松本亜沙美・川上真矢・高塚佳代子・椋木雅之・岡崎直宣 (宮崎大)
7. 視覚障がい者の Web アクセシビリティに配慮した医療機関 Web サイト標準仕様の提案  
○田中武志・氏間和仁・津久間秀彦・池内 実・藤田利恵 (広島大)
8. ニューラルネットワークを用いた構音特徴分析手法とその口蓋裂患児への適用  
○江藤彰洋・荒川大貴 (熊本大)・手塚征宏・中村典史 (鹿児島大)・坂田 聡・上田裕市 (熊本大)

◎懇親会を27日の夜に会場近隣で開催する予定です。

### 【情報保障に対する御理解と御協力】

WIT 研究会では「誰でも参加できる学会を目指して, 大会・研究会における, 障害のある人への情報保障方法を確立する」ことを目標として, 研究会における視覚障害者向けの点字・テキスト資料配布, 聴覚障害者向けの手話通訳・

要約筆記などを予定しております。

この一環として、技術研究報告原稿の電子データの利用を予定しています。電子投稿されたPDF ファイルを情報保障に用いることに同意しない場合には、備考欄にその旨を記入して下さい。障害などの理由で参加が難しい方のために、発表のリアルタイム配信を予定しています。御自身の講演の配信を望まない場合は、備考欄にその旨をお書き添え下さい。（発表スライドがWebで送信されますので、スライド作成時は著作権等に御配慮下さい。）

また、要約筆記や手話通訳のためにプレゼンテーションファイルの御提出をお願いする場合がございます。御協力をお願い致します。

#### **【ヒューマンコミュニケーション賞】**

WIT 研究会が所属するヒューマンコミュニケーショングループでは、研究会で発表された論文の中から、優秀なものを選んで「ヒューマンコミュニケーション賞」として表彰する制度があります。

☆WIT 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月 産総研臨海副都心センター〔未定〕

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>